

益田市地域づくりフォーラム 参加申込書

お申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてお送りください。

FAX：0856-32-0020

申込締切

2/2（月）

団体名 (あれば)			メールアドレス		
氏 名			年 代	お住まい の地区	下の表から参加を希望する発表の番号をそれぞれ3つ以上お選びください。
					1回目
					2回目
【記入例】 益田 花子			30代	吉田	1 3 4 7 8 10

〈当日の写真・動画撮影について〉今回のイベントの主催・運営者である益田市と一般社団法人 豊かな暮らしラボラトリーが、当日写真・動画撮影を行います。今後の広報等で活用することがあることをご了承ください。支障がある場合は、当日スタッフにお申し付けください。

<1回目14:00~14:45>以下の事例のうち1つの発表に参加できます。
(ご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください)

1 四見上 清流の郷の実践

-住民の「やってみたい」を実現する新しい地域自治組織のかたち-

四見上清流の郷では、住民主体の地域づくりを進めるため、部会制を改め、組織のかたちを見直してきました。地域活性化助成金制度の導入をきっかけに、役員中心の運営から「やってみたい」を応援する仕組みへと変化。広がる住民参加の輪と、具体的な制度活用事例を紹介します。

2 地域と益田養護学校が協働した「わさび田再生プロジェクト」

-魅力的な地域資源を次世代に継承するために-

四見は、江戸時代から続くわさびの名産地ですが、近年は高齢化により栽培を断念する農家が増え、耕作放棄地が広がっています。そうしたわさび田を復活させるため、益田養護学校の生徒と地域のわさび農家が協働し、わさび栽培に取り組んできました。栽培はもちろん、わさびを使った調理実習や地域との交流など、多様に活動が広がっています。生徒にとってどのような学びがあったのか、地域資源を活かし、次世代に受け継いでいくための工夫についてお話しします。

3 飯浦地区の「何にもしない合宿」のストーリー

-ゆるやかに継続する、地域×子どもの取組-

益田市で唯一、「何にもしない合宿」を自治会単位で毎月実施している飯浦地区。ただ集い、遊び、寝て、ゆるやかにつながる場として、今年度で20回目の開催を迎えています。小野中学校の統廃合を前に、子どもたちと地域とのつながりをどう紡いでいくのかにチャレンジし続けてきた、合宿のこれまでの歩みと今を紹介します。

4 鎌手の魅力をPRする新商品！「ますだ水仙」

-地域の魅力を探究する若い世代の取組-

体験

かまて地域づくり協議会 魅力づくり部会（通称：チャームラボ）は、地域の若い世代が集い、まずは自分たちが楽しむことを大切に、地域の魅力を探究し、発信してきました。今年度の新しい挑戦は、「ますだ水仙」の商品化。鎌手地区で大切に受け継がれてきた水仙をどうブランド化していくのか。取組の紹介とともに、実際に水仙を使ったハーバリウムづくり体験を行います。

※参加費300円

5 伝統芸能 石見神楽の新しいチャレンジ

-石見神楽を活用した地域づくりの取組-

体験

石見神楽の保存と活用を推進するために立ち上がった「MASUDAカグラボ」。公演はもちろん、「MASUDA 石見神楽WEEK」の開催や「小中高生向けの教育プログラム」の実施などを通じて、地域を盛り上げたり、子どもたちの郷土愛を育んだりしています。今回は、そうした取組について紹介しつつ、新しい石見神楽体験（石見神楽百人一首）を行います。

<2回目15:00~15:45>以下の事例のうち1つの発表に参加できます。
(ご希望に添えない場合がございますので、あらかじめご了承ください)

6 地域自治組織と公民館が、一層連携していくために

-大学院と連携した、地域の現状把握から連携強化までのプロセス-

北仙道地区では、この1年間東京農工大学 農村地域計画学研究室の協力を得ながら、地域自治組織と公民館による連携を強化してきました。地域自治組織と公民館のお互いの業務や行事を洗い出して、整理して、1つ1つ連携を模索していきました。今回のプレゼンでは、どのようなプロセスを経て、一体的な地域づくり体制を構築してきたのかを紹介します。

7 「maybe today.~HITME~」が開催されるまで

-過疎発祥の地、四見の暮らしを楽しむ！ターン者の挑戦-

「過疎発祥の地、四見の暮らしをもっと楽しみたい」そんな思いを持った若い世代を中心とした新しい動きが生まれています。「maybe today.~HITME~」は、「今日、なにか素敵なことが起こるかもしれない」をテーマに四見峡で開催されたイベント。マルシェに加えて音楽企画も充実し、地域で暮らす人々がゆるやかに交流する場となりました。今回は、当日の様子や、開催に至るまでのストーリーを紹介します。

8 「地域に飛び出す教員」

-若手教員による小さなまちづくりチャレンジ-

今、益田市周辺の若手教員を中心とした新しい動きが広がりをを見せています。「食」や「学び」「つながり」など、それぞれのテーマで活動する教員たちが集い、活動について語ります。教員という立場を超え、地域に根ざしたゆるやかな協働と挑戦を通じて、誰もが関われる「まちの居場所づくり」を実践している事例を紹介します。

9 『都茂丸山鉱山』を活用したまちづくり -地域の魅力を次世代へ-

都茂地区では、地域の歴史や鉱山の文化的価値を掘り起こしながら、住民が協働して鉱山跡地の活用やまちづくりに取り組んでいます。地域の誇りを次世代へつなぐ挑戦や、鉱山をきっかけに広がる新たな交流の形を紹介します。

10 新ジャンル開拓！「ゴッチャ楽団」の歩み

-「楽しい」から始める地域活動の第一歩-

体験

楽器も経験もジャンルも違うメンバーが集まり、音楽の楽しさを地域に広げ、地域を盛り上げている『ゴッチャ楽団』。地域のお祭りや子ども向けのイベントなど、演奏の機会を広げてきました。そんなゴッチャ楽団の活動について知り、実際にみんな自由に音を奏で、ゴッチャ楽団を体験しましょう！